

あおい通信

東京江戸散歩 その拾巻一個・月島・築地①



写真／文
七海邦夫

右…個小橋より水辺を見る →
下…リバーシティ21の超高層群



明智光秀が本能寺に信長を襲った時、危険を感じた家康が大坂から脱出するのに摂津(大阪府)佃村の漁師たちが大きな働きをした。この功績を認められ、後に江戸湾の干潟を与えられて、埋め立て、移住したのが佃島である。彼らは漁業権も与えられ、特に十一月から三月までの白魚を捕って将軍に献上する役目を仰せつかり、江戸前の白魚権を独占した。

初夏の初鰯と並んで冬から春に掛けての白魚は人気の味覚となり「月も朧に白魚の舞も霞む春の宵」と歌舞伎『三人吉三廓初買』の台詞にまで登場する。俳人其角は「夕月やここ住吉のつくだけしま」などどひねってあり、

「江戸名所図会」は佃島を潮干狩りや月見の名所として紹介している。石川島は隅田川河口の三角州を埋め立てた土地で、佃島と離れていたが埋め立てが進んで幕末にはもう地続き同様になった。地名は石川八左衛門という侍の屋敷があったことによる。

老中松平定信による寛政の改革の時、火付け盗賊改め鬼平こと長谷川平蔵の進言により、ここに人足寄場が設けられ、無宿者や軽犯罪者を収容して職業教育を施すようになった。明治以降は石川島監獄と呼ばれる懲役所になり、やがて監獄が巣鴨に移転すると跡地は石川島造船所(石川島播磨重工)になった。今はリバーシティ121と言う高層住宅地に変わり水辺は緑のブルームナードに変わり身している。

佃島の入り口に架かる赤い欄干の佃小橋に立つと掘割に釣船が繋がる。住吉神社の社頭が見える。水辺には職の大柱が浸さされている。三年に一度の大祭(八月上旬の三日間)に使われるものだ。この時は二十七メートルの職が各所に立てられ、大獅子頭が担ぎ出される。(続く)

世評・時評

政局も会期末を一ヶ月後に控え、麻生首相の決断が問われる時期が近づいている。そんな狙いの首相だが鳩山新体制発足後、民主党の支持率が回復、厚生労働省の分割や日本郵政社長人事、世襲制限などで揺れ続けている。その上与野党対決の静岡県知事選、

都議選が控えており、結果次第では楽観を許さない状況となっている。また自民党々内では総裁選を前倒しの動きも一部であるが、近々解散総選挙となるが果たして自民党の勝利が得られるか難しい段階に入っている。一方民主党の鳩山新代表は五五年体制以降、細川、羽田両連立政権の一時を除いて半世紀以上続いてきた自民政権と交

代すべく、今回の総選挙には圧勝し民主党政権実現に情熱を燃やしている。今度の総選挙も態勢からみて民主党が有利の感がありそうであるが、若し政権を執っても直ぐに政局が変わるわけではなく、今年度の予算も既に決まっているので新しい政策は制約される。我々国民にとってはあるのサブプライムローン問題以来の景気不況に悩まされており、少しでも明るい方向を迎えられる政治をして貰いたいものである。(かくれみの)

毒舌・独言

バンクーバーのダウンタウンで自転車借り一日中走り回ってみた。パシフィックセンターラール駅から北西側部分を、スタンリーパークをぐるり回るまでの全てを走るほど美しい大都会であった。

坂があり結構きついのが、日本と違い気持ちよく走ることができた。何故？自転車専用道が完備されているのである。「自転車も車両」という基本が徹底されており、例えば3車線道路であれば、右

端はバスと自転車優先！という具合である。歩道上に自転車を通す場合も、人は完全に分離されており、しかも自転車の一方通行指定なんてもあったりする。熱慮の末に法施行している工夫力に感心した。また、ヘルメット着用も完全義務であり、違反者はその場で50ドルの罰金らしい。チョッとやりすぎ？と思った私は日本人”を羨望した。翻って我が国の事情である。練馬駅周辺はもとより、今や日本中に自転車があふれて大混乱。暫らく前には「自転車と衝突して死亡事故」の新聞記事や、我物顔で走り回るママチャリは「凶器である」との指摘など侃々諤々、議論百出だったがここに来て少しは整理がついた様だ。最近のECOブームも



左側の歩道は1車線分となっている

■編集委員会より
お願いです
「あおい通信」は、皆様からの原稿を募集しております。担当飯島迄お申し出下さい。

利用者さんの紹介コーナー

林 光雄

週に二日通所しています。薬にも少しずつ慣れてきました。運動も自分のペースでやっています。皆様、よろしくお願いたします。



高井 眞知男

「薬」でお世話になって早一年。時を感じず通所できているのは楽しいからである。これからは皆様の手を煩わせることとは思いますが、明るく頑張っていく所存です。



水田 充吉

薬に通いはじめたばかりでまだまだ慣れていません。昔は薬道をやっておりました。四段です。麻雀も好きで、仲間に入れていただいで楽しく過ごしています。



沼屋 隆

小島 恵一
六月からの通所です。若い頃は山歩きをしていました。古美術を鑑賞するのも好きです。今でも庭の手入れはかかさずに行っています。



中埜地 千代子

一人の生活が長く、さまざまところがあると思えますが、よろしく。目標は杖を使用しないで歩くことです。大好きなシヨッピングを楽しみたいです。



沼屋 隆

薬に通所することにしたのは、妻の介護をするために筋力をつけようと思ったからです。楽しみながらがんばりたいと思っています。



沼屋 隆
今回で、平日通所の皆さんのご紹介は終了です。次回からは、日曜日通所の皆さんのご紹介となります。

随想

おばさん

補物帳
泉 貞子

それは今から三十年以上も前のことであった。I夫人と私は次の週に出かける旅行の買物に、Sデパートへ行った。I夫人が「これ如何が欲しい」と一枚のブラウスを取り上げて、声をかけられた。私はハンドバッグをシヨーカーズの上に置いて、似合うか如何かを見て上げて振り向くと、今置いたはずの私のハンドバッグがないではないか！驚いて見廻すと、私の横を通り過ぎようとして

随想

蚊帳(かや)

井関 義久

大連には蚊がいなかった。昭和二年四月一日、佐世保港に着いた。佐世保引揚揚護局の「右八定若者ナルコトヲ証ス」と書いた証明書が、今手許にある。

もう一枚、「引揚証明書」というのがあり、こちらには給与金品記載欄が付いていて、服一、下着二、手拭一、フンドシ一、帽子一、靴下一、蚊帳一と、手書きの文字がある。収容所内で、お互いに

いる黄色いドレスの若い女の右手にさげている紺色のハンドバッグが目に入った。「アッ！それは私のだ」と思った瞬間、私はどっさにその女の手首を握っていた。そして女店員に「誰か係りの方を呼んで下さい」と我ながら驚くほど落着いて云った。女は「間違いました」とあたりをはばかる様な小さな声で云った。そこへ警備の人達が来て、奥の事務所で事情を聞かれた。

追跡などと言う程のものではないが、只その女の歩かないで、只その女の手首を握っただけであった。その後I夫人は警備総監督、私は池袋署長賞を頂いた。二人でお礼に行った時「貴女は自分のハンドバッグだから一段下で、I夫人は他人のために犯人を逮捕されたので警備総監督なのです」と説明された。その女は

不要な物を交換し合っていたけれど、私にとってすべてが必要だった。服は陸軍の外套、蚊帳は大荷物でやや持て余した。お金は隠し持っていた軍票の多寡に関わりなく、一律に千円。

一カ月間の残留孤児だった。旅順工場の学生Iさんがずっと面倒を見てくれていた。Iさんは京都大工学部に入入。私は京都府立桃山中五年に転入できた。無用の長物と思った蚊帳が、下宿生活では一番役に立った。弁当は配給の芋の粉(京都ではナンバの粉と言った)を弁当箱で蒸したものを持参した。農家から通っている



住所不定の常習犯で、その日も新宿から警官が尾行してきて、池袋で見失ったのを偶然私達が捕まえたとの事であった。帰途I夫人が「一人って見かけによらない人なんです。あんな綺麗な人だったら、うちの息子連など騙されるかもしれないわ」とおっしゃって二人で笑ってしまっただ。

自画像



井関 義久
ドライバーに多見

私は昭和十二年一月生まれで今年七十二才です。家族は二男一女で、それぞれ結婚して、別世帯で暮らしています。内孫は中一と小四の男の子、外孫が小二と四歳の女の子二人の四人の孫がいます。現在、私は一人暮らしです。永年連れ添った家内が病に倒れてから六年間

薬友の会 広報コーナー



- 第一回歩こう会 六月十七日(16名)
- 第十一回カラオケ会 六月十九日(15名)
- 第二回歩こう会 六月十七日(16名)
- 第十回カラオケ会 五月十五日(17名)
- 第三回麻雀大会 五月二十日(15名)

七月も「歌舞伎公演」「ホテル狩り」「上野精養軒グループ会」とイベントは続きます。(事務局) 車椅子の不自由な生活を共にして参りましたが、家内はこの三月他界いたしました。結婚して四十八年、色々ありました。家内には感謝しています。薬に勤め始めてから早や半年、仕事にもようやく慣れ、毎日少しでも通所される皆様のお役に立てればと、安心安全に心を配ってまいりましたが、これからも皆様に信頼して頂ける様、努めてまいります。